

科目区分	研究科目		
授業科目名	形態解析学・器官構造学		
担当者名	板東 良雄	配当年次	2, 3年次
単位数	15単位(選択)	実施場所	研究室
授業形態	実験実習		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
<b>授業の概要・到達目標</b> 授業の目的: 実験計画の立案から実験の遂行およびデータ解析に至るまで研究を主体的に行える基本的知識と技術を学修する。 授業の到達目標: 得られた成果を学会にて発表する。また、学術論文誌を作成・公表し、学位を取得する。 授業の概要: 解剖学は目で観察することを主体とする学問であるが、視覚による情報量は非常に大きく、分子生物学が盛んとなった現在においても、その重要性はさらに大きくなっている。そこで、本講座で行っている基礎研究の一端を実際に遂行することによって、免疫組織化学法や電子顕微鏡を用いた形態学的アプローチによる研究法の習得を目指す。各自の意欲に応じて分子生物学的手法や細胞生物学的手法の習得も可能である。 具体的な研究課題は、脳血管障害や脱髄疾患における神経変性の病態形成や神経再生が中心であるが、神経に限らず対応できる場合もあるため、テーマは教員とあらかじめ相談すること。また、技術相談や共同研究等の問い合わせは随時行っているため、気軽に相談してほしい。			
<b>問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)</b> 板東 良雄, ybando@med.akita-u.ac.jp			
<b>その他特記事項</b> 履修に関する情報: 社会人大学院生など、勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。 教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または、文献を指定する。 自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。			

科目区分	研究科目		
授業科目名	細胞生物学		
担当者名	八月朔日 泰和	配当年次	2, 3年次
単位数	15単位(選択)	実施場所	研究室・実験室・セミナー室
授業形態	その他		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
<b>授業の概要・到達目標</b> 授業の目的: 研究を進める上で必要な実験や学会等での発表、論文作成にかかる技術的知識や技能について学ぶことを目的とする。 授業の到達目標: 作成した論文を学術論文誌に公表後、学位審査を経て学位取得を目標とする。 授業の概要: 組織における分子の発現および局在を特異抗体を用いて検出する方法について講義を行う。また、組織構築を司る分子基盤を明らかにし、組織形態の異常により惹起される様々な病態の理解を深める。免疫組織化学染色、分子遺伝学、イメージング、数理モデルなどを含む多角的な手法を駆使して、以下の研究課題に取り組む。 1. 免疫組織化学染色を用いた分子の細胞内局在に関する研究 2. 組織・器官構築に関する研究 3. 肝臓星細胞に関する研究			
<b>問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)</b> 八月朔日 泰和, yahodumi@med.akita-u.ac.jp			
<b>その他特記事項</b> 履修に関する情報: 社会人大学院生など、勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。 教科書・参考文献: 事前に対象者に周知します。 自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。			